

おおむた 市議会だより

第206号

平成30年度
9月議会

平成30年(2018年)11月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※平成25年度以降



スポーツ市民の祭典2018
(平成30年10月7日、8日)

【主な記事】

- 平成30年度 議会報告会を開催しました／ぎかいの話題(2ページ)
- 議員定数を25名から24名へ／ぎかいの話題(3ページ)
- 健康づくり市民大会・大牟田みんなの健康展／おおむた自慢(12ページ)

ぎかいの話題

平成30年度議会報告会を行いました



8月3日
【吉野地区公民館】

今年度で第8回目となる議会報告会は、下表のとおり9会場で開催し、259名の市民の皆さんに参加していただきました。

また、今年も全会場で要約筆記と手話通訳を行いました。

開催までにご尽力いただいた地域役員、関係者の皆様に感謝申し上げます。

平成30年度 参加人数

8月	会場	人数
1日	大正小学校	33
2日	手鎌地区公民館	37
3日	吉野地区公民館	53
7日	労働福祉会館	22
17日	三池地区公民館	21
20日	勝立地区公民館	19
22日	駛馬地区公民館	31
23日	総合福祉センター	19
25日	三川地区公民館	24
合 計		259

※報道関係者を除く

報告会の概要

報告会では、初めに昨年各会場で出された意見・要望のうち、いくつかの意見を取り上げ、行政から回答を受けた内容を説明しました。

その後、議会の中で討議して決めたテーマについて報告しました。今年は「大牟田市庁舎の整備について」と「今後の保健所のあり方（設置主体の変更等）について」の2点を取り上げました。いずれも大事なテーマであり、議会でも今後議論を深めていかなければならない課題でもあるので、市民の皆さんの意見・要望を聞き、議会活動に生かしていきたいと考え、報告す

るテーマに選定しました。

さらに報告の後半では、平成29年度の議会活動について報告しました。具体的には、「大牟田市動物園について」と「ほっと安心奨学金制度について」を説明し、意見等を伺いました。

この報告会で寄せられた意見・要望は、広報広聴委員会の広聴部会の議員を中心に集約分類し、公表することとしています。さらには、9月議会や決算特別委員会の中でも、皆さんの意見を踏まえて各議員が発言を行いました。

今後もあらゆる機会を通じて発信していきたいと思います。

酷暑の中、参加いただき誠にありがとうございました。

参加者のアンケート集計結果（抜粋）

回答者数 221人

〔 〕は昨年の議会報告会での回答割合（昨年の回答者数217名）

○年代 20代以下 0.4% [1.4%] 30代 2.7% [1.8%]
40代 5.0% [6.9%] 50代 13.6% [15.2%]
60代 29.4% [28.8%] 70代～ 48.9% [46.1%]
無回答 0.0% [0.0%]

○開催日時について

参加しやすかった 79.2% [84.8%]
参加しにくかった 5.9% [6.0%]
無回答 14.9% [9.2%]

○内容について

満足 17.2% [18.0%] やや満足 38.0% [41.9%]
どちらでもない 24.9% [21.7%]
やや不満 6.3% [7.4%] 不満 0.5% [1.4%]
無回答 13.1% [9.7%]

○議会に関心が

もてた 41.2% [42.4%] 少しもてた 36.6% [33.2%]
どちらでもない 10.4% [10.6%] もてなかった 1.8% [1.4%]
無回答 10.0% [12.4%]

今年も多くの方々に参加いただきました、ありがとうございました。

また、参加者アンケートによると、「はじめて参加」された方が55名おられました。今後も市議会の広報・広聴に努めてまいります。

9月議会の概要

本会議運営

29年度決算の認定、議員定数を削減する条例を可決

9月議会

平成30年度9月議会は、9月3日に招集され、9月27日までの25日間の会期で運営しました。

9月議会で審議した議案等は、29年度の各会計決算7件、4億3,670万3千円を追加する一般会計補正予算、条例議案などの議案11件、報告7件、議員報酬等の特例に関する条例案、議員定数を削減する条例改正案、市保健所の設置主体の福岡県への変更等を求め

る意見書案など発議13件及び人権擁護委員候補者の推薦3件の計41件でした。

本会議では、市庁舎の整備、絵本ギャラリー、市保健所の設置主体の変更などの諸課題に11人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

また、29年度各会計決算議案は、決算特別委員会に付託し審査を行いました。

本会議最終日までに、意見書案の発議4件を除いた議案、発議、諮問をそれぞれ可決、認定または異議なき旨を答申して本会議を閉会しました。

決算特別委員会

小中学校の特別教室等へのエアコン設置を要望

議員全員で構成する決算特別委員会（松尾哲也委員長、山口雅夫副委員長）を設置し、29年度の各会計決算関係議案7件について、9月18日から21日までの4日間にわたり、慎重に審査しました。

審査の結果、64項目の意見・要望を盛り込んだ委員長報告書をまとめ、本会議最終日に全ての決算関係議案を認定しました。

このうち、小中学校の特別教室等へのエアコン設置、学童保育所・クラブの待機児童の解消などについての2件は、全議員により合意形成が図られた最重要の要望として、市長に報告を行いました。

合意形成を図った最重要の要望（全文）

1. 小中学校の特別教室等へのエアコン設置については、普通教室には設置されたものの、特別教室等において、現在、未設置箇所もあるため、各学校の意向調査も行いながら、国等の有利な財源が確保できる場合にも即応できるよう、設置計画などの策定も含め、鋭意準備を進められたい。
2. 学童保育所・クラブについては、待機児童の解消に向けては、これまでも取り組まれてはいるが、さらなる対策を図るとともに、開所時間の延長についてもニーズを把握されていることから、実施に向けた具体的な検討を進められたい。

本会議運営のあらまし

議員報酬等の不支給・停止等を規定した特例条例を制定

本市の議員報酬・期末手当は、議員が長期間欠席した場合でも全額支払われる条例となっていました。また、議員自らが、長期間欠席等を理由に、受け取った報酬等を市へ返納することは寄付行為となり、公職選挙法で禁止されています。

この課題について、公務上の災害等を除き、病気などで本会議等を長期間欠席した場合（2回の定例会とその間の委員会、全員協議会などの会議をすべて欠席）、翌月以降は不支給とし、また刑事事件で逮捕・勾留された場合などにおいても、不支給・停止を行う旨などを規定した特例条例を9月議会に議員提案し、議員全員が賛成し可決しました。

議員定数を25名から24名へ

議員定数については、人口減少や本市の厳しい情勢が今後も継続することが予測されることや、市民意識などを総合的に勘案した結果、議員定数を削減することが必要との考えから、議員定数を削減する条例改正案を9月議会に議員提案し、賛成多数で可決しました。

次の一般選挙から1名減となり、現在の25名から24名になりますが、議員自らの努力と研究を重ね、今後も、多様な意見の反映をはじめ、議会改革に向けた取り組みを推進していきます。

平成29年度決算については、「広報おおむた12月15日号」に詳しく掲載される予定です。

議案等の審議結果

議 員 名 議 案 等 名		自由民主党議員団						公明党議員団					社民・国民民主・護憲クラブ				日本共産党議員団			無所属				賛成数	審議結果	
		徳永春男	境公司 （議長）	田中正繁	中原誠悟	光田茂	森竜子	山口雅夫	大野哲也	今村智津子	塩塚敏郎	平山伸二	三宅智加子	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝	橋積和雄	北岡あや	高口講治	島野知洋	城後徳太郎			塚本二作
発議第10号	生活保護基準の引き下げ中止を求める意見書案	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	8	少数否決
発議第11号	水道民営化を推し進める水道法改正案の成立に反対する意見書案	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	8	少数否決
発議第12号	特定複合観光施設区域整備法の廃止を求める意見書案	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	8	少数否決
発議第13号	核兵器禁止条約への参加を求める意見書案	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	8	少数否決
発議第14号	水道施設の戦略的な老朽化対策を求める意見書案	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	15	多数可決
発議第22号	大牟田市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	15	多数可決
議案第14号	平成２９年度大牟田市一般会計決算の認定について	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第15号	平成２９年度大牟田市国民健康保険特別会計決算の認定について	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第16号	平成２９年度大牟田市介護保険特別会計決算の認定について	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第17号	平成２９年度大牟田市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第21号	平成３０年度大牟田市一般会計補正予算	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第28号	大牟田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
発議第15号	大牟田市保健所の設置主体の福岡県への変更等を求める意見書案	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
発議第16号	大牟田市保健所の設置主体の福岡県への変更等に伴う円滑な事業実施等を求める意見書案	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で認定、可決、異議なし

議案第18号 平成29年度大牟田市病院事業債管理特別会計決算の認定について

議案第19号 平成29年度大牟田市水道事業会計決算の認定について

議案第20号 平成29年度大牟田市公共下水道事業会計決算の認定について

議案第22号 平成30年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算

議案第23号 平成30年度大牟田市介護保険特別会計補正予算

議案第24号 平成30年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算

議案第25号 大牟田市制100周年記念事業基金条例を廃止する条例の制定について

議案第26号 大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

議案第27号 大牟田市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について

議案第29号 請負契約の締結について（大牟田市高泉市営住宅（2期）新築工事）

議案第30号 請負契約の締結について（大牟田市高泉市営住宅（2期）新築に伴う管設備工事）

議案第31号 過疎地域自立促進計画の変更について

諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について〔大道敬子氏〕

諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について〔奥蘭公明氏〕

諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦について〔東隆也氏〕

発議第17号 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書案

発議第18号 児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書案

発議第19号 主要農作物種子法にかかわる新たな法律の制定を求める意見書案

発議第20号 主要農作物種子法にかかわる福岡県独自の条例制定を求める意見書案

発議第21号 大牟田市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定について

議会日誌（7月～9月）

【7月】3日 広報広聴委員会広報部会

11日 広報広聴委員会広報部会

17日 広報広聴委員会広報部会

23日 広報広聴委員会広報部会

25日 各派代表者会

26日 広報広聴委員会広報部会

【8月】3日 各派代表者会、議会運営委員会

27日 各派代表者会、議会運営委員会

28日 まちづくり・活性化特別委員会

30日 都市環境経済委員会

31日 市民教育厚生委員会、総務委員会

【9月】3日 各派代表者会、議会運営委員会、第2回定例会本会議

〔開会〕、広報広聴委員会広報部会

7日 第2回定例会本会議〔質疑質問〕

10日 第2回定例会本会議〔質疑質問〕

11日 第2回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会

12日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会

14日 各派代表者会、議会運営委員会、第2回定例会本会議

〔決算議案を除く議案等採決〕、決算特別委員会、

広報広聴委員会広報部会

18日 決算特別委員会

19日 決算特別委員会

20日 決算特別委員会

21日 決算特別委員会、起草委員会

25日 起草委員会

26日 起草委員会

27日 起草委員会、各派代表者会、議会運営委員会、

第2回定例会本会議〔決算議案採決、閉会〕

今後の100年を見据えたまちづくり



公明党議員団
三宅 智加子 議員

中国大同市訪問を終えての所感

問 日中平和友好条約締結から40周年、公明党創立者の国交正常化提言から50周年という節目を迎えた。

8月の中国大同市訪問を終えての市長の所感は。

答 昭和56年に友好都市の締結をし、これまで代表団の相互訪問などの友好親善をはじめ、環境技術や環境教育、都市緑化といった分野での国際協力に取り組み、良好な関係を築いてきた。25年ぶりの訪問で街並みは急速な近代化が図られていた。一方で大気汚染の改善は目を見張るものがあり、これまでの技術協力の成果を大きく感じた。



大同市訪問

再発言 世界平和は、対話と様々な交流の積み重ねの上に

成り立つものである。今後は、次の世代にバトンを託す取り組みをさらに図りたい。

児童虐待防止対策

問 平成28年度の児童虐待相談件数は12万件を超え、5年前と比べ倍増している。本市の児童虐待防止対策と課題について聞きたい。

答 児童虐待防止のためには、子供や子育て家庭を地域で見守り、虐待の疑いがある場合には早期に発見し、多くの機関が連携して対応することが重要である。本市では、医療・教育・福祉など16の関係機関で構成する「大牟田市子ども支援ネットワーク」を設置し、児童虐待の問題解決に取り組んでいる。また、4月に開設した「はぐはぐOomuta」では、全ての妊産婦に早期から寄り添い、児童虐待の発生予防に力を入れている。

再発言 虐待を感知した人が、それを知らせることができる相談窓口「児童相談所全国共通ダイヤル189-いちはやく」の周知徹底に努められたい。

自殺対策

問 厚生労働省が公開した平成30年版自殺対策白書では、若い世代の自殺が、他国のデータと比較して高い傾向にあ

る。本市の小中学校での自殺対策について聞きたい。

答 各学校に文部科学省の自殺予防に関して周知を図るとともに、児童生徒にいつでも相談できる窓口を記載したSOSダイヤルカードを配布している。また、管理職や養護教諭などを対象に自殺予防教育に関する研修会を開催している。さらに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携を図り、様々な事案に対応できる体制を整えている。

再発言 本市では、児童虐待防止や自殺対策など行政の各部署間、他の関係機関との連携がよく図られている。

教育や子育てに関して相談しやすい環境づくりのためにも、総合相談窓口の設置を検討されたい。

大牟田市動物園の魅力を生かす絵本ギャラリーの整備

問 絵本ギャラリー側入り口の駐車場については、どのような整備をするのか聞きたい。

答 旧老人福祉センターの駐車場を予定しているが、台数が限られている。そのため、絵本ギャラリー側の駐車場は、体に障害をお持ちの方や関係者の方々を中心に利用いただくことになると考えている。

再発言 旧延命中学校跡地に整備される駐車場から絵本ギャラリーまでのアプローチは、地域住民の皆さんの理解を得て、楽しい道のりとなるような創意工夫を図られたい。

代表質問

絵本ギャラリーの整備は慎重に



社民・国民民主・護憲クラブ
平嶋 慶二 議員

世界遺産 3 周年を迎えて

問 三池炭鉱関連資産が世界文化遺産に登録されて3年を迎えた。登録されたときの本来の目的は、この遺産を生かして市民の郷土愛や誇りを醸成することであったと思うが、今日までの取り組みは。

答 平成27年7月に三池炭鉱関連資産が世界遺産に登録された。これは、本市の宝が、人類が共有すべき顕著で普遍的な価値を持つ宝として認められたと同時に、その価値を未来にわたって守り伝えていく責務を負うものでもあるため、これまで周知啓発や情報発信などに取り組んできた。

これにより、市民の本市への愛着や誇りの醸成も図られ、まちづくりの機運も高まってきたものと認識している。

再発言 三池炭鉱には囚人労働の歴史がある。負の部分もぜひ今後も伝えてほしい。

絵本ギャラリー整備

問 絵本ギャラリー整備の現状や今後の計画、事業概算は。

答 絵本ギャラリーについては、本年7月に基本設計の業者が決定した段階。

31年度に実施設計を行い、32年度に整備を行う予定。

基本設計の中で、概算費用など示していきたい。

問 兵庫県宝塚市の手塚治虫記念館は、年間3,000万円の赤字のようだが、このことは知っているか。

答 経営状況は把握していない。絵本館などの類似施設については調査しているところ。

再発言 税金を投入するからには慎重に判断したい。基本設計など、都度議会に報告を。

市庁舎の整備

問 市民との意見交換会やアンケート調査などの取り組み、また、附属機関における議論の経過や今後の方針決定までの予定について聞きたい。



大牟田市庁舎

答 庁舎整備検討委員会での検討が進められている。その答申を受け、市民アンケートや団体意見等を十分に踏まえ

て、本館の取り扱いを含む庁舎整備の対応方針を検討していきたい。

なお、答申は9月下旬から10月上旬に行われる見込み。

本市の文化・芸術を感じるまちづくり

問 本市の文化・芸術の中で、漫画部門では本市出身の漫画家が多い。漫画文化を後世に伝える取り組みとして、漫画の原画ギャラリーなどに取り組んではどうか。

答 本市ならではの人材や歴史を生かした事業を展開し、市民に身近な場所で文化・芸術に触れていただけるよう取り組んでいきたい。

種子法廃止と農業の危機

問 TPP協定では、遺伝子組み換え食品の輸入を促進するとなっており、種子法の廃止には食の安全の観点からも大きな懸念を抱いている。

当局の見解を聞きたい。

答 TPP協定では、遺伝子組み換え食品の輸入を促進するといった文言はないものの、外資系企業から遺伝子組み換え食品が流入するのではないかと不安視する声もある。

再発言 種子法廃止で遺伝子組み換え作物を嫌々ながらも作らざるを得ないということも予想される。今、日本の食というのは、非常に大変になってきている。いろんな方に考えていただきたいので、早めの情報提供を要望する。

市政全般に憲法25条の理念の実践を



日本共産党議員団
高回 講治 議員

憲法25条の今日的意義と 地方自治体の役割

問 社会保障が削減され、国民の将来不安は大きくなっている。憲法25条の理念を政治・制度の土台にきちんと据えることが重要だ。憲法25条の理念が市政の中でどのように生かされているか。

答 憲法の理念に基づいた市政運営を進めている。持続可能な社会保障制度とするため改革は避けられないが、行き過ぎた制度改革には意見を上げなければならないと考える。

生活保護制度と保護行政

問 生活保護制度には偏見や差別が広く存在するので、憲法25条の精神とその権利性を保護行政にしっかりと位置づけておくことが重要だと思うが。

答 生活保護制度の周知が行き渡って、セーフティーネットの役割を果たすようにしていきたい。

問 生活保護のしおりの改善として、「最低限度の生活」ではなく、憲法条文どおり「健

康で文化的な最低限度の生活を保障するもの」とすべきではないか。

答 しおりの見直しの必要性は認識しているところであり、今後、

改訂作業を行っていききたい。

問 捕捉率（保護を利用する資格のある人のうち、実際に保護を利用している人の割合）は20%と言われ、救済されない人が多数存在する。自治体がこの人たちに保護制度を周知徹底し、救済活動を積極的に行うべきだと思うが、市の取り組みは。

答 仮定した本市対象者の約1万2千世帯に、憲法25条の観点に立った支援が行き届いているのか、よく考えなければならない。保護が必要な人には、しっかりと受給できるように対応していきたい。

問 まだ救済されていないかもしれない8割の人を救済することは、行政の仕事と認識しているか。

答 支援を必要とする人に必要な支援を届けることは、行政の仕事と考えている。

問 自動車や預金、生命保険、学資保険等の保有に関して、しおりの記載に不十分さがあるので、誤解が生じないように、修正が必要ではないか。

答 提案されたことも参考にして、見直していきたい。

問 保護利用者は医療機関を

受診したい時、福祉事務所で医療券をもらわねばならない。この制度は憲法11条（基本的人権）14条（法の下での平等）25条（生存権）に違反する制度ではないか。

答 国からの指導に基づき執行しているが、他の福祉事務所等の捉え方も尋ねて検討していきたい。

問 猛暑で死亡する人も出ている。保護世帯のエアコン設置状況と今後の対応は。

答 冷房機器設置世帯は7割。残り3割については、冷房機器設置ができるよう対応は必要だと思っているが、これまでは生活扶助費の中でやりくりをしていた。

保健所の設置主体の変更

問 設置主体の変更は、設置意義の変遷の問題が残っていると思うが、考えは。

答 当初の保健所法が設置した当時の意義からすると変遷があったという観点で検討してきた。

再発言 保健所の問題は、市庁舎整備問題と比べても、市民への情報の周知徹底や意見集約がほとんどなされておらず、この点をしっかり強化して検討を行うよう要望する。



大牟田市保健所

代表質問

本市での災害対応に、被災地での活動経験の反映を

自由民主党議員団
中原 誠悟 議員

替える場所については、市民の利用しやすさ、敷地状況、立地の特性や整備期間中における業務の継続性などの視点も必要であること

から、慎重に検討したい。

中国大同市との交流の意義

問 市長の中国大同市訪問の目的と成果は。

答 これまで、相互訪問などの友好親善をはじめ、環境技術や環境教育、都市緑化といった分野での国際協力に取り組む、友好的な関係を築いてきた。今回新たに、医療・介護分野での交流を盛り込んだ協議記録書への調印を行うなど、発展的な継続を確認できた。

問 成果が市民に浸透していない課題もあるが、今後は。

答 大同市からの代表団訪問や技術交流の研修受け入れ時には、学校訪問など市民との交流機会づくりにも努めたい。

大牟田市庁舎整備

問 建て替えの場合、庁舎の建設場所を検討する際の基本的な考え方や視点は。

答 庁舎整備検討委員会において、機能や整備手法と合わせ協議中だが、建て替えを伴う整備を行う場合、耐用年数が経過するまで、場所の変更ができないことに加え、建て

災害に強いまちづくり

問 被災地に派遣された職員の方々が学んだことは。

答 被災地の状況を目の当たりにし、被災者の立場に寄り添った対応の大切さなどを学ぶとともに、被災現場における経験の組織での共有、マニュアル作成や見直しに生かし、災害対応業務の改善にフィードバックすることで、今後の災害対応力の強化につながるものとする。

問 消防本部から派遣された職員が災害現場での活動を通じて感じたことは。

答 複数の機関が活動し、初対面の指揮者がそれぞれの隊の規模や装備が違う中で、同時に活動する連携の難しさを経験した。

また、被災地からの帰任後は、報告会や検討会を通じ、情報共有や課題の洗い出しを行い、改善を図っており、本市で災害が発生した場合にも、多くの機関からの応援を円滑に受け入れできるよう、受援計画等にも反映させている。

重要港湾三池港

問 現時点における三池港の整備状況は。

答 国の直轄事業については、平成23年度に航路のしゅんせつ工事が完了し、平成26年度から航路護岸の補強工事が進められ、平成32年度末に完了する予定。

県事業については、平成28年度から公共埠頭7番背後のコンテナヤード拡張整備が進められ、来年度から供用開始予定。臨港道路四山線については、橋梁2カ所の整備が行われ、今年度に完了する予定。

問 現時点における三池港利用促進に向けたポートセールスの取り組みや現状は。

答 国・県・市等で構成するマイポートみいけ利用促進協議会や三池貿易振興会と連携し、三池港への貨物・船舶の誘致等の利用促進に取り組んでおり、佐賀県や熊本県北部地域の荷主企業への訪問活動を行い、7月には、大手荷主企業や船会社の代理店がある東京・大阪地区にもポートセールスを実施している。

8月には、三池港を利用していない企業を対象としたポートセミナーを開催し、積極的に三池港をPRしている。



三池港

一般質問



公明党議員団
平山 伸二 議員

保健所の設置主体の 変更に伴う動物愛護業務

問 動物愛護団体との意見交換や今後の動物愛護業務は。

答 説明は未実施だが、県への業務移管により、取り扱い

が判明した時点で説明したい。

さらなる安心・安全な まちづくり

問 通学路の空き家などの危険なブロック塀等で、所有者へ直接連絡が取れない場合は。

答 土地登記簿謄本で所有者を調査し、判明後、適正管理を求める文書とリーフレットを送付予定。

防犯灯のLED化

問 防犯灯LED化の進捗状

く必要があるのでは。

答 駅南側の開発も含めた周辺地区の土地利用や駅の利用動向等を見つつ関係協議会でも検討し、必要に応じて計画の見直しも考えていきたい。

水道法の改正(案)

問 老朽化した水道管の更新計画についての考え方は。

答 国等へ財源確保を働きかけ、老朽管の更新に努めたい。

問 水道法の改正(案)における民間事業者への公共施設等

士不足を解決するべきでは。

答 保育士については、国の処遇改善とあわせて市も取り組んでいる。学童保育所の処遇改善については、新たに事業が実施されているが、県下においてはなかなか実施が進んでいない。

再発言 学童保育所の処遇改善の加算をとるように市としても手立てを求める。

問 公立保育所で昇給もない嘱託員の処遇は問題で、市としても改善に取り組むべきでは。

況と今後の計画を聞きたい。

答 市全体で約8,300基中3,700基がLED化。今後、関係団体との情報交換やニーズ調査など、地域の実態も把握し、LED化を促進したい。

自転車保険

問 自転車の安全講習の取り組みと、本市での損害賠償保険加入の義務化の見解は。

答 県の自転車条例を踏まえ、交通安全や損害賠償保険加入促進の啓発を実施していく。

運営権に対する考え方は。

答 これまでどおり市町村が経営する法の原則は変わらないと考える。将来にわたって安全な水道水を供給していく。

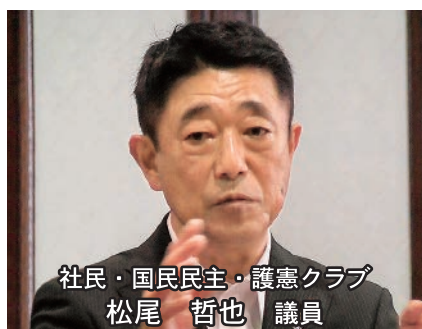
幼児教育の無償化

問 来年10月からの幼児教育・保育の無償化への対応は。

答 具体的な方法や保育士不足を解消するための措置が示されない中での来年10月実施は大変困ることもあり、全国市長会で緊急要望を行った。

答 嘱託員制度は長期継続雇用を前提としていない。特定の業務に従事することで、能力を伸ばすこと、経験の蓄積等の要素を考慮する必要性は低い。そのため昇給制度にはなじまない。

再発言 そもそも保育士は嘱託員としてなじまず、そのため、保育士は更新を繰り返しながら働いている。公立保育所としても子供の成長と生活に直接かかわることから、正面から市の嘱託員の処遇改善を要望する。



社民・国民民主・護憲クラブ
松尾 哲也 議員

地域公共交通網形成 計画とまちづくり

問 新大牟田駅南側の開発と公共交通との関係において、新大牟田駅周辺を交通結節拠点としてターミナル化してい



日本共産党議員団
北岡 あや 議員

保育士の処遇改善で 保育士不足解決へ

問 市内の保育所・認定子ども園において保育士不足が深刻で、学童保育所の支援員も不足、処遇改善により、保育

一般質問

市民理解が得られる
財政健全化の施策を

問 厳しい財政状況の中、財政健全化に向け、市民サービスの縮小などが挙げられているが、その取り組みに当たっ

て、市民ニーズをどう捉え、施策の取捨選択をするのか。

答 市民ニーズを的確に捉えるとともに行政評価等を踏まえ、事業の再構築を行いながら、より有効な事業に限られた財源を重点投下したい。

絵本ギャラリーは
後悔のない施設に

問 動物園の駐車場が有料となり、入園料も値上げしたときの影響をどう考えるのか。

答 駐車場の整備等を税金で賄うことも含め、他都市の状

況等も見ながら検討したい。

問 ガバメントクラウドファンディングの寄附金で、動物園内を絵本の世界に演出すると計画されているが、動物園が現在取り組んでいるコンセプトと一致しているのか。

答 看板等での案内が、絵本の世界のイメージにつながるよう指定管理者と協議したい。

再発言 指定管理者や協力者のためにも、絵本ギャラリーの効果的な整備について、精査・検討し、情報を公開しながら取り組んでほしい。

地域振興に
配慮した物品購入

問 印刷物購入の安価入札が続けば、市内業者は雇用促進どころか倒産、廃業へ追い込まれてしまう。市内中小企業

支援育成のためにも、最低制限価格制度の早期見直しを。

答 近年の需要低迷による低価格での落札が続けば、印刷業者の衰退を招くとともに、今後の良質で安価な調達が懸念されるため、市内業者に優先発注でき、契約内容が確実に履行されるよう、最低価格の導入を含め検討している。

西鉄観光列車の対応と
大牟田駅西口の利便性向上

問 平成31年3月、西日本鉄道の観光列車が運行開始され

るが、本市の対応は。また、大牟田駅西口駅前広場等の利用と利便性向上への見解は。

答 観光協会等、多くの団体と連携し、近代化遺産を含む市内観光ルートや、荒尾市や山鹿、平山温泉をめぐる広域観光ルート等の協議を行っている。駅西口の利便性向上については、観光案内機能の充実や賑わいの創出を初め、トイレの改修などの環境整備や乗客に対するおもてなし対応、利用促進に向けた取り組みの提言等を踏まえて進めたい。

2019年度版
財政健全化計画の策定を

問 財政構造強化指針の改定で示された収支試算では、平成35年度に20億円の累積赤字になる。前回の財政危機の時

にできる対策はやってきたので、今回の方が状況が厳しいと思うが市長の認識はどうか。

答 今後は市民の皆さんの理解もいただき、行政サービスの縮小も考えざるを得ない。

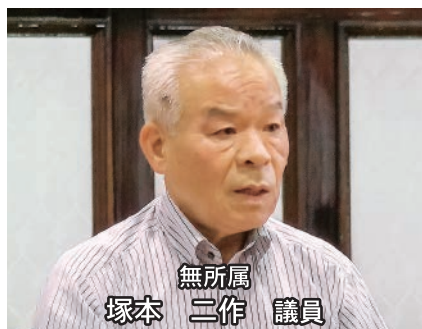
問 来年度予算提出の時に2019年度版財政健全化計画を示してはどうか。

答 今後は、強化指針に基づき、毎年度の予算編成の中で具体的に取り組んでいく。

若者が働きたいと思う
職場・産業を取り込む戦略を

問 有効求人倍率では、雇用は足りているが、まだ新卒の若者が働きたいと思う職場が不足しており、ITやAIなど今後伸びる産業の取り込みについて、戦略的な産業政策が必要と思う。今後の産業育成、企業誘致の考え方は。

答 環境・リサイクルをはじめ、新エネルギー関連産業の導入等に取り組んでいる。他にも、化学工業や機械器具製造業の育成・誘致を図りたい。さらに、宿泊施設の誘致も調査検討したい。



市保健所の県への移管 (パート 2)

問 最低限の市民サービスを確保しつつ、可及的速やかに県に移管すべきと考えるが、

答 市議会の同意をいただき、

本市の意思決定をすることがまず大事と考える。その上で、国及び福岡県との協議を開始し、具体的な役割分担や課題を整理しながら、スケジュールを明確にしたい。具体的な作業に当たっては、国・県の理解と協力を得ながら、可及的速やかに進めたい。

世界遺産登録に伴う経済効果

問 経済効果 2 億円の積算根拠と、これまで本市が支出した額の公表は。

一般質問・委員会メモ

答 積算根拠については、来訪者数を 10 万人、一人当たりのお土産購入額を 2,000 円としている。また、世界遺産関連事業の経費は、宮原坑用地取得や駐車場整備、旧長崎税関三池税関支署整備などで総額約 5 億 4,200 万円となっているが、市の一般財源からの支出は約 8,900 万円。さらに、世界遺産登録後の維持管理費として年間平均約 2,800 万円を一般財源から支出しており、これらは決算書や成果報告などで広く公表している。

委員会メモ

大牟田市庁舎の整備手法等について

【総務委員会】

10 月 18 日の委員会で、市庁舎の整備手法等の諮問に対する答申について説明を受け、建設場所や市民意見の聴取等について質疑を交わしました。

この答申を踏まえ、庁舎整備手法等の基本方針が策定される予定です。

学校適正規模・適正配置計画

【市民教育厚生委員会】

8 月 31 日の委員会で、学校適正規模・適正配置計画の中間見直しの諮問に対する答申内容について、学校・PTA・地域関係者等に説明会を実施すると説明を受けました。

答申書は市ホームページ、7 地区公民館などで閲覧できます。

大牟田駅連絡橋改修

【都市環境経済委員会】

8 月 30 日の委員会で、連絡橋本体の経年劣化による部材の腐食等による漏水などのため、改修工事を行う旨の説明を受け、改修内容等について質疑を交わしました。

今後、31 年 1 月に本体工事着工、32 年 3 月に工事完成予定です。

総合計画

【まちづくり・活性化特別委員会】

8 月 28 日の委員会で、まちづくり総合プラン等に対する意見についての回答・考え方への検証案とともに、現状を踏まえ、今後の対応について各会派・委員の意見を持ち寄り、委員間討議を行いました。

行政視察受入 (7 月～9 月)

月	日	都道府県	団体名	視察項目
7	3	長野県	長野市議会	次世代エネルギーパーク
	5	北海道	函館市議会	世界遺産登録に向けた地域での取り組み
	6	佐賀県	嬉野市議会	認知症ケアコミュニティ推進事業
	10	神奈川県	小田原市議会	地方再生コンパクトシティ
	11	佐賀県	太良町議会	認知症の取り組み
	18	福岡県	大野城市議会	大牟田市空き地及び空き家等の適正管理に関する条例における取り組み
	19	京都府	長岡京市議会	荒尾市との水道施設の共同設置と DBO 方式の活用
	26	東京都	荒川区議会	大牟田・荒尾 RDF センターリサイクル発電
	30	香川県	坂出市議会	重要港湾を活用した地域振興
	31	神奈川県	大和市議会	教育における SDGs の取り組み
8	1	東京都	足立区議会	認知症ケアコミュニティ推進事業
	2	和歌山県	新宮市議会	認知症ケアコミュニティ推進事業
	3	大阪府	八尾市議会	DIY 市営住宅の補助金拠出(空き家、市営住宅の利活用の事例)
	7	埼玉県	越谷市議会	大牟田市居住支援協議会
	8	京都府	京田辺市議会	認知症ケアコミュニティ推進事業
	9	福岡県	八女市議会	会派制度の状況
	9	京都府	京都府議会	認知症ケアコミュニティ推進事業
	30	兵庫県	姫路市議会	大牟田市動物園
9			なし	

インフォメーション

■ 次の定例会は 12 月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■ 傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1 階)または市民生活課(2 階)奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画(平成 25 年度以降)を視聴できます。

■ 会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。

12 月上旬から閲覧できます。ホームページでも 12 月上旬から閲覧・検索できます。

おおむた自慢



第41回大牟田市健康づくり市民大会、大牟田みんなの健康展、健やか住みよか食育フェアが9月8、9日の2日間にわたり大牟田文化会館で開催され、3,100人の来場者で賑わいました。

この事業は50を超える大牟田地域の健康づくり団体が構成される、大牟田地域健康推進協議会が主催し、健康づくりに対する市民の意識の高揚を図り、大牟田地域の福祉の増進に寄与することを目的に開催しています。

今年は初めての試みとして、子どもたちを対象とした医師・看護師体験なども行われました。

健康づくり市民大会で特別講演

明光学園中等高等学校のクワイアチャイム演奏で幕開けした健康づくり市民大会では、日本初の漫才式セミナー講師として「笑い」を活用したコミュニケーション術による研修や講演を行い活躍されている、Wマコトのお二人が「楽しく笑って健康長寿！笑いは元気のエネルギー」をテーマに特別講演。Wマコトさんの楽しい講演で会場は終始、笑い声が絶えず、来場者の皆さんは笑顔で会場を後にされました。



内容充実のみんなの健康展・健やか佳みよが食育フェア

みんなの健康展では、医師会、歯科医師会、薬剤師会の連携による相談コーナーの充実と各種健診。医療なんでも相談室をはじめ、呼吸器、泌尿器科、心臓病、



婦人科、眼科、皮膚科、
耳鼻科・補聴器、歯科な
ど専門科別の相談が気軽
に行えるほか、各種がん
検診、歯みがき指導と

フッ化物塗布、介護予防・リハビリまで様々なコーナーがあり、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の来場者で長蛇の列が来ていました。



健診は無料～500
円で、予約が必要な
ものもあります。

また、今年初めて



の試みとして子どもを対象とした、「医師・看護師体験」が行われ人気でした。聴診器で心音を確認したり、

胃カメラの操作体験、赤ちゃんの人形を使ってミルクを飲ませたりおむつの交換など、はじめは緊張していた子どもたちも、医師らのアドバイスを受け、貴重な体験に目を輝かせていました。

このほかにも、健やか住みよか食育フェアでは、食育体験コーナーやお食事宅配試食コーナー、食事のバランスコーナー、手打ちそば実演、お茶が美味しくなる淹れ方コーナー、地産地消による食育推進、各団体による相談として、はり・きゅう、くすり、高齢者交通安全、成年後見、救急などの相談・体験コーナーがあり、充実した内容でした。



大活躍で人気のジャー坊も歯科検診などを受け健康チェックをする姿が見られました。

家族と一緒に健康について、様々な角度から考えることができるこの機会を、ぜひ生かしてみませんか。

編
集
後
記

今年も、８月に議会報告会を９カ所で開催し、地域の安心安全や議員定数などに多くの関心が寄せられました。また、９月定例会では、①議員報酬等の不支給・停止等を規定した特例条例、②市議会議員定数を25名から24名とする条例の２件について発議し、可決されました。二元代表制のもと、今後も開かれた議会へ改革を進めてまいります。(M)

■編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】橋積和雄 【副委員長】古庄和秀

【委員】 光田茂 森竜子 今村智津子 大野哲也 塚本二作

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail : e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

■印刷 株式会社野口印刷所